
「当院で^{99m}Tc-HMDPを用いた骨シンチグラフィにて心アミロイドーシス評価した症例の検討」に関するお知らせ

このたび、^{99m}Tc-HMDPによる骨シンチグラフィを用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、国際医療センター臨床研究倫理審査委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2016/8/1～2022/12/31 までの心アミロイドーシス疑いにて埼玉医科大学国際医療センターで^{99m}Tc HMDPを用いた骨シンチグラフィ施行例を対象としています。

2. 研究の目的

心アミロイドーシスの診断ツールの1つとして骨シンチグラフィが有用であり、本邦においては現在^{99m}Tc-PYPと^{99m}Tc-HMDPが保険適応となっています。診断基準には視覚評価と半定量評価が用いられますが、^{99m}Tc-PYPに関しては半定量評価の閾値がある一方で、HMDPに関しては未だ定まっていません。当院で^{99m}Tc-HMDPを用いてスクリーニングされた心アミロイドーシス患者さん、その後心筋生検により心アミロイドーシスと確定された患者さんを後ろ向きに検討し、半定量評価などのパラメータを比較検討する既存試料・情報を用いた研究です。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026/3/31

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である久慈一英が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

電子カルテから^{99m}Tc HMDPを用いた骨シンチグラフィにて得られた骨シンチパラメータ(視覚的評価、H/CL、SUV値)を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学国際医療センター 核医学科 助教 江木 竜太

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 核医学科 助教 江木 竜太

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 核医学科 江木 竜太

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4147（土日祝日を除く 9：00～17：00）

○研究課題名：当院で ^{99m}Tc -HMDP を用いた骨シンチグラフィにて心アミロイドーシス評価した症例の検討

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 核医学科 教授 久慈 一英